

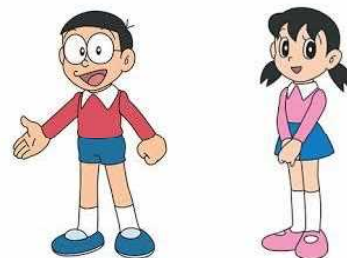
こころをひらき 未来をひらく

＜家庭、地域、学校が一体となって、
子どもたちの未来を育もう＞

節目のときを大切にしたい

6年生、中学3年生、高校3年生のお子さんをもつ保護者の皆様にとっては、何かと心が落ち着かない時季だと思います。もうすぐ素敵な本当の春がおとずれることを願っております。（年長さんの親御さんもですね。）そのような節目の日が、本校でもまもなくやってきます。卒業式、修了式です。まだ義務教育の内ですから、大きなたいへんさはないと思いますが、それでもどこことなく心忙しない感じがします。

さて、時間をさかのぼり、昨年末の「冬休みをむかえる会」にて、学校生活④⑤⑥⑦⑧の⑧、「⑧もいやり」のお話をしました。お子さん方は覚えているでしょうか。「のび太さん」と「しずかちゃん」の結婚についてのお話でした。結婚の日が明日にせまった「しずかちゃん」。マリッジブルーと言うのでしょうか、結婚することが怖くなってきました。（のび太さんを嫌いになったわけではありません）そこで、「しずかちゃん」はお父さんにこう訴えます。「パパ！ あたし、およめに行くの やめる！！」と。するとお父さんはこう言います。「あの青年は人の幸せを願い、人の不幸を悲しむことができる人だ。それがいちばん人間にとって大事なことなんだからね。」子どもの頃は、〇〇〇・・・だった「のび太さん」が、思いやりたっぷりの好青年になっていたのですね。結婚当日、節目の日の朝、「しずかちゃん」はお父さんにどう語りかけたのでしょうか。



「のび太さん」のまわりには、いつもたくさんの方がいました。家族、近所の皆さん、仲間。言い換えると、「のび太さん」はたくさんの人々の中で生かされてきました。キャリア教育の目的は、「基礎的・汎用的能力の育成」です。生きていく上で、学ぶ上で、働いていく上で、必要となるであろう力のもととなる力がそれです。「あいさつ」「礼儀作法」「思いやり」「協力・協調」「忍耐」「がまん」・・・、などが頭に浮かびます。本校では「みんなと協力する」「自分を理解する」「めあてに向かう」「将来を考える」をキャリア教育の視点としてあげています。これらも「基礎的・汎用的能力」です。

まもなく2月、今の学年での登校も残り少なくなりました。この1年間で自分はどのような学びをしてきたのか、何が身についたのか等を理解、自覚し、ぜひ4月からの新しいスタートにつなげたいものです。



季節折々のしきたりや行事を通して、学ぶことは多いものです。来週2月3日は節分。子どもたちも大好きな行事だと思います。学校でも、それに関わっての小集会を行う予定です。皆様のご家庭ではどうでしょうか。「鬼は、いつも〇〇〇の役目」になっている？

立春が過ぎても、寒い日はまだまだ続きます。お気をつけください。 文責：校長 菅原